ORGANO

第76期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日

O R G A N O

オルガノ株式会社

証券コード：6368

経営理念・経営ビジョン

経営理念

オルガノは
水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と
社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

長期経営ビジョン

- 付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に
  事業領域と展開地域を拡大し、
  産業と社会の価値創造と課題解決を推進する製品・サービスを
  絶えず提供します。

- 昨日までのやり方を、
  明日に向けて、
  今日変える人をつくり、
  一人ひとりが働きがいと
  活力に満ちた企業を構築します。

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第76期事業年度(2020年度)の概況をご報告申し上げます。

2020年度は、全世界が新型コロナウイルス感染症の拡大によって大きく混乱いたしました。コロナ禍で業績が落ち込む企業が多くみられる中で、当社グループは感染拡大防止と事業活動の両立に努めることで好業績を維持することができました。売上高は創業以来初の1,000億円に達し、営業利益も期初計画を上回る過去2番目に高い水準を達成しております。
当期の期末配当金につきましては、好調な業績を踏まえ、1株当たり62円といたしました。これにより、中間配当金52円と合わせた年間配当金は前期比で10円増配の114円となります。今後も収益の状況を勘案した安定的な配当に努めてまいります。

当社グループは2018年度に10年間の長期経営計画を策定し、それを中期経営計画に反映し、各施策を実行してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大長期化により事業環境は大幅に変化いたしました。当社グループとしてもさらに大きな飛躍

が必要であると考えたため、昨年長期経営計画の見直しに取り組み、新たな長期経営計画「ORGANO2030」の骨子をまとめました。

「ORGANO2030」では、電子産業分野に続く次の柱となる事業、成長を志向する地域、成長を促進するドライバーを特定し、経営の方向性を明確にいたしました。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進やSDGｓなどの社会的課題への取組み拡大など強化すべき事業基盤を明らかにいたしました。

新たな中期経営計画（2021～2023年度）では経営の方向性を「ORGANO2030」に合わせながら、売上を着実に伸ばし、最終年度の2023年度の営業利益は初の100億円以上の達成を目指します。

新型コロナウイルス感染症の収束までには多くの時間を要すと思われ、また地政学リスクもますます高まっていく可能性があります。こうした中でも長期的な視点に立ちながら柔軟に対応していくことで、持続的な成長が可能と考えております。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長 社長執行役員

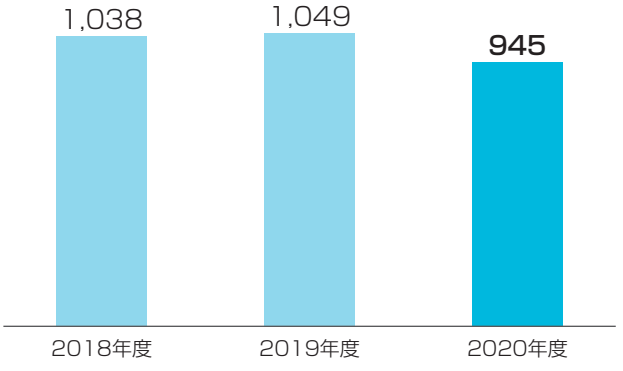
内倉昌樹

財務ハイライト

受注高

945億円　**9.9**%減(前期比)

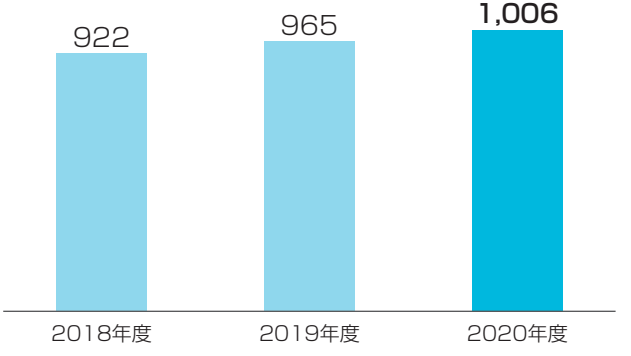
(単位:億円)



売上高

1,006億円　**4.3**%増(前期比)

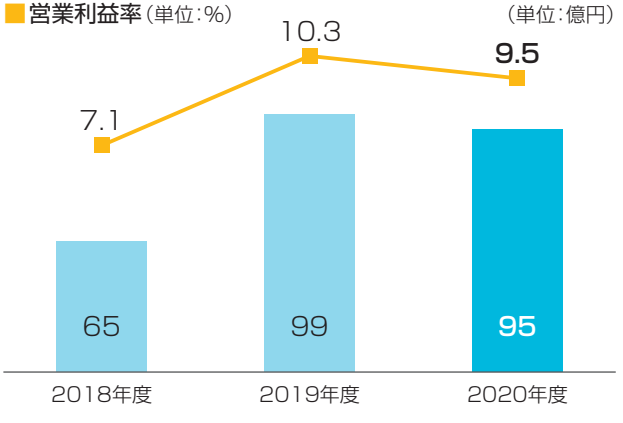
(単位:億円)



営業利益(率)

95億円　**3.3**%減(前期比)

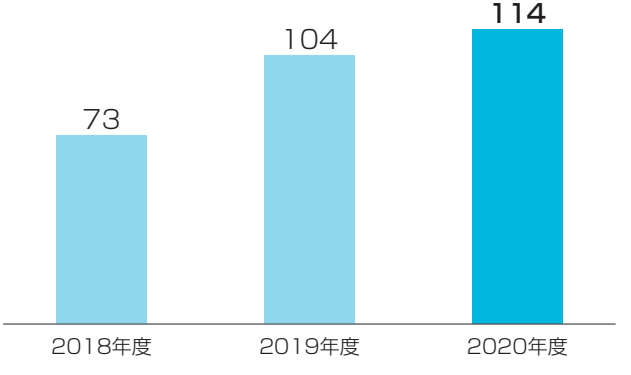
■営業利益率(単位:%)　(単位:億円)



1株当たり配当金

114円　**+10**円(前期比)

(単位:円)



2020－2022年度中期経営計画の振り返り

2020年度は初の売上高1,000億円超となり計画値を達成しました
利益面やROEも計画値を大きく上回り、最終年度の目標値を超えることができました

●受注高　：水処理エンジニアリング事業の受注減少が影響し、目標値未達
●売上高　：前期に受注した大型プラント案件の順調な進捗、海外受注増により、初の1,000億円超に
●営業利益：一般産業分野他の利益改善、販管費の減少等により、過去最高の前期に次ぐ水準達成

●業績目標と実績

（単位：億円）

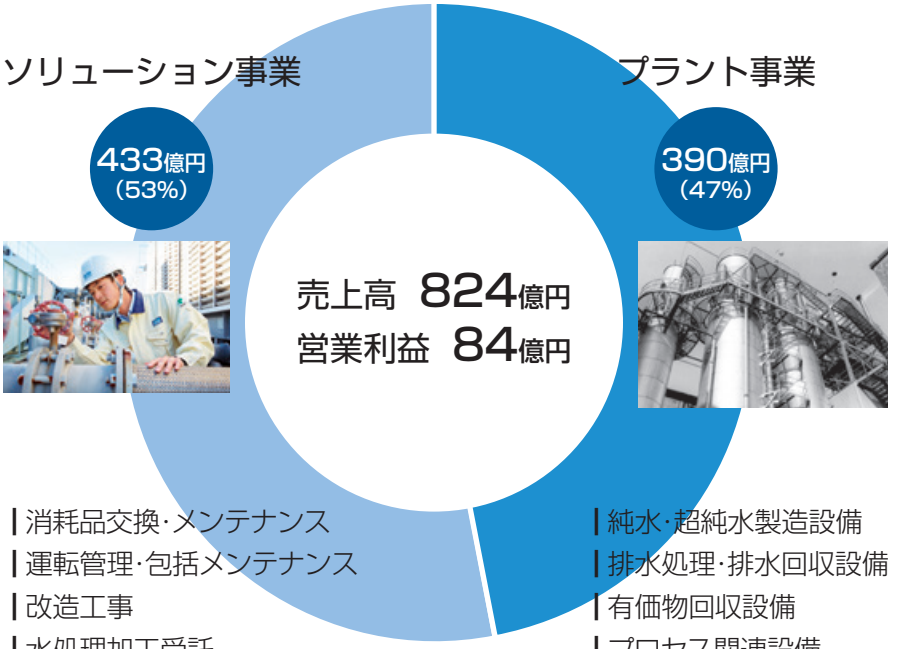
	2020年度計画値	2020年度実績	2022年度計画値
受注高	1,000	945	1,050以上
売上高	1,000	1,006	1,050以上
営業利益	72	95	90以上
営業利益率	7.2%	9.5%	8.6%
自己資本当期純利益率（ROE）	7.5%	11.1%	8.2%

●重点施策の状況

電子産業分野の拡大	中華圏の旺盛な需要の取り込みに成功
ソリューションサービスの強化	大型改造案件が寄与し、売上増
新規事業の創出	NMP回収精製システムの二次電池製造顧客先での評価開始

セグメント別の概況

水処理エンジニアリング事業



- 消耗品交換·メンテナンス
- 運転管理·包括メンテナンス
- 改造工事
- 水処理加工受託

- 純水·超純水製造設備
- 排水処理·排水回収設備
- 有価物回収設備
- プロセス関連設備

売上高は、一般産業分野や電力·上下水分野が減少したものの、電子産業分野では国内外で大型プラント案件が順調に進捗したことに加え、海外のソリューションサービスが堅調に推移したことから増収となりました。
利益面では、比較的採算性の良い案件が前期に集中したことの反動などにより、減益となりました。

電子産業分野

売上高 **476億円**

- ·半導体
- ·電子部品

電力·上下水分野

売上高 **106億円**

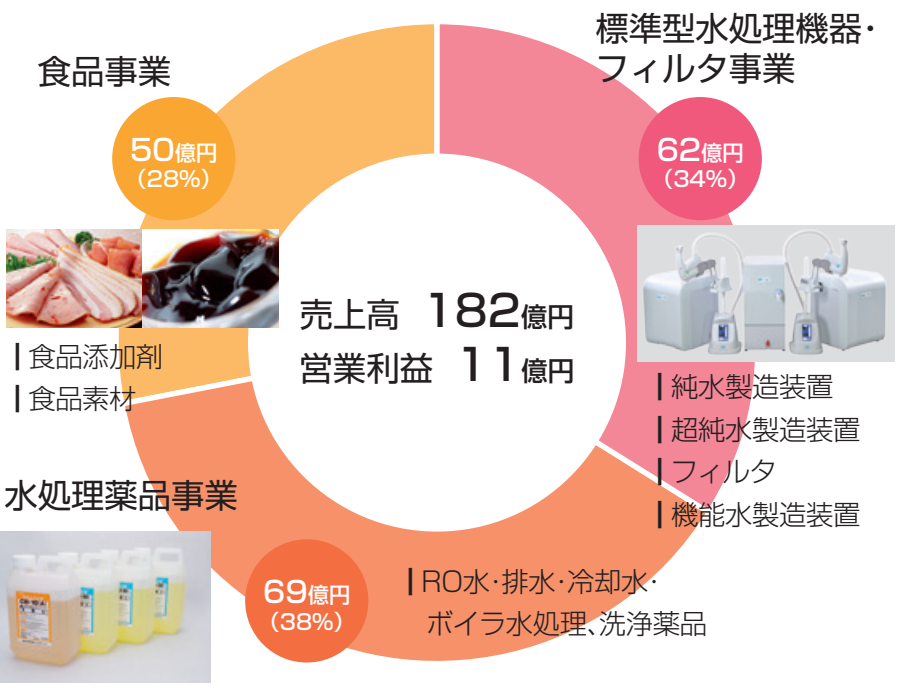
- ·発電所
- ·浄水場
- ·下水処理場

一般産業分野

売上高 **241億円**

- ·医薬品／化粧品
- ·食品／飲料
- ·機械／素材／化学

機能商品事業



売上高は、コロナ禍の影響により水処理薬品事業や食品事業では減少したものの、標準型水処理機器・フィルタ事業ではラボ用の純水・超純水製造装置の販売が好調に推移し前期並みを維持したことなどから微減にとどまりました。
利益面は、製造部門での間接経費や営業経費の減少などにより、増益となりました。

標準型水処理機器・フィルタ事業

- 研究所／医療機関
- 各種工場
- 飲食店／コンビニ

水処理薬品事業

- 各種工場
- ビル
- 商業施設

食品事業

- 食品加工
- 飲料製造
- 介護食／健康食品

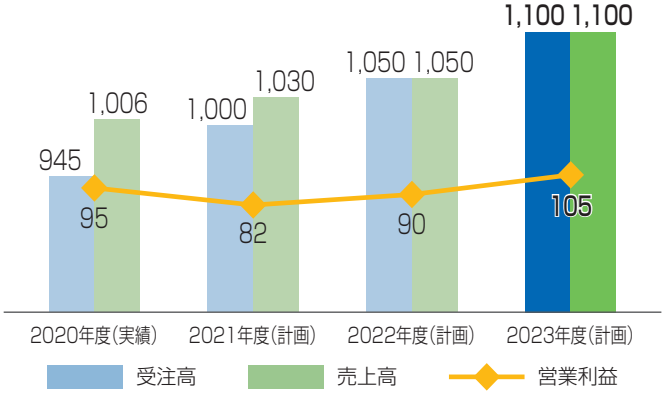
2021～2023年度　中期経営計画

中期経営計画を毎年ローリング

新たな中期経営計画では、長期経営計画「ORGANO2030」で策定した当社グループの経営の方向性に沿った戦略を実行してまいります。

経営目標として最終2023年度は売上高1,100億円、営業利益105億円を掲げ、営業利益率・ROEともに９%以上を安定的に達成できる収益構造の構築に取り組んでまいります。

経営目標	
売　上　高	1,100億円以上
営 業 利 益	105億円以上（営業利益率9.5%以上）
R　O　E	安定的に９%以上

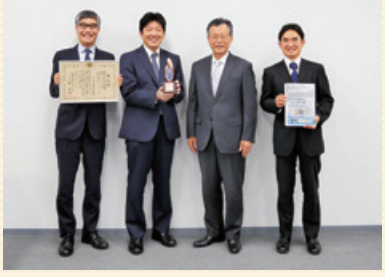


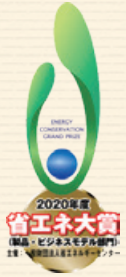
重点分野	成長地域	成長ドライバー	事業基盤の構築
電子産業	中華圏	ソリューションサービスの体制整備・品質向上	エンジニアリング体制の強化
			ESG/SDGｓへの取組み
水処理薬品		次世代技術の研究開発、センシング＆デジタル技術の強化	安全・コンプライアンスの徹底
			データ活用の推進
機能材料			人材の育成・活用

トピックス

冷却水処理剤オルブレイドシリーズによる省エネソリューション「2020年度省エネ大賞」受賞

工場やビルでは、ボイラや冷凍機で作った温水や冷水で空気の温度を調整しており、冷凍機の冷却には冷却水が循環して利用されています。しかしながら、冷却水の適切な水質管理を怠ると、配管・機器等に腐食・スケール・スライム等が発生し、故障・電力量の増加等につながります。当社独自の新殺菌成分を配合した世界初の冷却水複合処理剤と各種専用処理剤で構成される「オルブレイドシリーズ」を最適に組み合わせることにより、トラブル防止や省エネに貢献します。この効果が評価され「2020年度省エネ大賞　省エネルギーセンター会長賞」を受賞いたしました。今後もお客様の省エネ、環境負荷低減に貢献してまいります。





開発センター新実験棟建設

当社は、電子産業向け次世代型超純水装置や薬液・溶剤等の分離精製技術の研究開発推進のため、開発センター内に2棟の新実験棟の建設を進めております。去る1月19日に関係者が参列し地鎮祭を執り行い、工事の安全を祈願しました。稼働開始は2022年4月を予定しております。

新実験棟完成予想図

地鎮祭の様子

財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科　目	前期末 (2020年3月31日現在)	当期末 (2021年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	76,078	**89,702**
固定資産	25,369	**25,308**
有形固定資産	19,296	**18,974**
無形固定資産	1,113	**1,105**
投資その他の資産	4,959	**5,228**
資産合計	101,448	**115,011**
負債の部		
流動負債	32,240	**40,749**
固定負債	8,349	**6,905**
負債合計	40,590	**47,654**
純資産の部		
株主資本	61,277	**67,139**
資本金	8,225	**8,225**
資本剰余金	7,508	**7,508**
利益剰余金	46,081	**51,902**
自己株式	△ 537	**△ 495**
その他の包括利益累計額	△ 560	**74**
非支配株主持分	140	**143**
純資産合計	60,857	**67,357**
負債純資産合計	101,448	**115,011**

資産の部
リース投資資産は減少したものの、受取手形及び売掛金の増加などにより13,563百万円増加しました。

負債の部
その他流動負債は減少したものの、電子記録債務及び短期借入金の増加などにより7,063百万円増加しました。

純資産の部
親会社株主に帰属する当期純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加などにより6,499百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フロー
4,582百万円の資金流出となりました。主な資金の増加は税金等調整前当期純利益の計上によるものであり、主な支出は売上債権の増加等の支払によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー
1,261百万円の資金流出となりました。主な支出は有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー
4,927百万円の資金流入となりました。
主な資金の増加は短期借入金の増加によるものです。

当期の現金及び現金同等物は前期末に比べ968百万円減少し、12,804百万円になりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科　目	前期 (2019年4月 1日から 2020年3月31日まで)	当期 (2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)
売上高	96,515	**100,638**
売上原価	69,232	**74,311**
売上総利益	27,282	**26,326**
販売費及び一般管理費	17,374	**16,746**
営業利益	9,908	**9,579**
営業外収益	383	**454**
営業外費用	362	**133**
経常利益	9,929	**9,900**
特別利益	9	**22**
特別損失	88	**227**
税金等調整前当期純利益	9,850	**9,695**
法人税等	2,678	**2,608**
当期純利益	7,172	**7,086**
非支配株主に帰属する当期純利益	10	**12**
親会社株主に帰属する当期純利益	7,162	**7,074**

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科　目	前期 (2019年4月 1日から 2020年3月31日まで)	当期 (2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,553	**△ 4,582**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,006	**△ 1,261**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,007	**4,927**
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 43	**△ 52**
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,495	**△ 968**
現金及び現金同等物の期首残高	11,276	**13,772**
現金及び現金同等物の期末残高	13,772	**12,804**

会社概要(2021年3月31日現在)

会社概要

商号	オルガノ株式会社（英文 ORGANO CORPORATION）
本社	〒136−8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号
創業	1946年5月1日
資本金	8,225,499,312円
従業員数	連結2,319名（単体1,072名）
事業内容	当社は総合水処理エンジニアリング会社として、イオン交換樹脂、分離膜、活性炭等を使用する各種用排水処理装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理アウトソーシング受託並びに各種薬品、食品加工材の販売を主な事業としております。

主要な事業所（2021年6月29日時点）

開発センター	相模原
工場	つくば、いわき
支店	北海道、東北、関東、中部、関西、中国、九州

主要なグループ会社

連結対象子会社	
国内	海外
オルガノプラントサービス(株) オルガノフードテック(株) オルガノエコテクノ(株) オルガノアクティ(株)	Organo(Asia)Sdn.Bhd. 奥加諾(蘇州)水処理有限公司（オルガノ） 奥璐佳瑙科技股份有限公司（オルガノ・テクノロジー） Organo(Thailand)Co.,Ltd. PT Lautan Organo Water
その他グループ会社	
国内	海外
(株)ホステック 東北電機鉄工(株)	Organo(Vietnam)Co.,Ltd. Organo(Singapore)Pte Ltd Murugappa Organo Water Solutions Private Limited

取締役・監査役（2021年6月29日時点）

代表取締役社長	内倉 昌樹
取締役	山田 正幸
取締役	堀 比斗志
取締役	中山 泰利
取締役	須田 信良
取締役	本多 哲之
社外取締役	永井 素夫
社外取締役	照井 恵光
社外取締役	平井 憲次
常勤監査役	豊田 正彦
社外監査役	樋口 達
社外監査役	花野 信子

執行役員（2021年6月29日時点）

社長執行役員	※ 内倉 昌樹
専務執行役員	※ 山田 正幸
常務執行役員	※ 堀 比斗志
常務執行役員	※ 中山 泰利
常務執行役員	※ 須田 信良
常務執行役員	福田 和久
常務執行役員	浅野 伸
常務執行役員	富沢 真
執行役員	※ 本多 哲之
執行役員	大賀 克巳
執行役員	國枝 達也
執行役員	島田 健
執行役員	秋元 英良
執行役員	久木﨑 誠
執行役員	小池 省次郎
執行役員	吉田 晃
執行役員	雨宮 徹

※は取締役兼務者であります。

株式の状況(2021年3月31日現在)

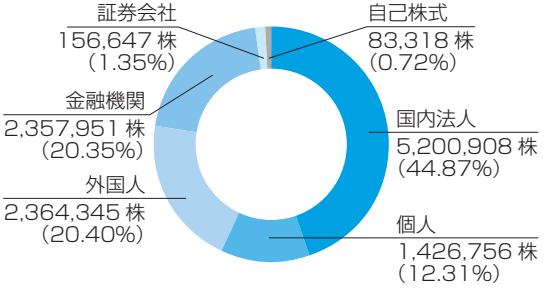
発行可能株式総数	25,392,000 株
発行済株式総数	11,589,925 株
株主総数	4,574 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	4,925	42.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	694	6.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	643	5.59
バンク エ ケス デパーニュ ドレタ ルクセンブルグ 46985807	202	1.76
株式会社みずほ銀行	200	1.74
ビーピーエイチ ザ アドバイザーズ インナー サークル ファンド ツー コペルニク グロ オール キャップ ファンド	165	1.43
KBC BANK NV - UCITS CLIENTS NON TREATY	134	1.17
ビーピーエイチ ボストン カストディアン フォー ビーピーエイチティー エスアイエイ ヘブタゴン ファンド ピーエルシー コペル620357	118	1.03
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	105	0.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	99	0.86

※持株比率は自己株式(83,318株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告 公告掲載アドレス https://www.organo.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

連絡先	〒168-0063
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
ホームページアドレス	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

株式に関する諸手続のお申し出先について

■住所変更、配当金受領方法の指定、単元未満株式の買取請求及び買増請求などの株式の諸手続につきましては、お取引のある証券会社にお申し出ください。

■証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様の株式の諸手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)でお取り扱いいたします。

ORGANO
オルガノ株式会社
〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8 経営統括本部 経営企画部 TEL.03-5635-5111
ホームページアドレス https://www.organo.co.jp/

FSC www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080